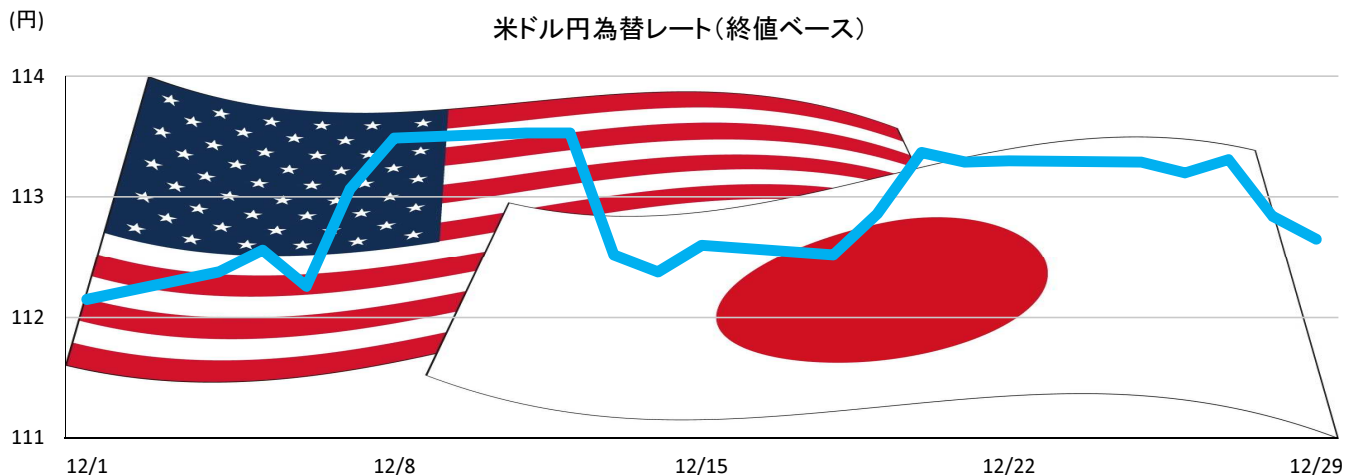


MARKET REVIEW

先月の振り返り: 12月のドル円相場は、113円半ば～111円半ばで推移。米予算問題がドル高の足かせとなっていたが、無事に解決したことと米雇用統計の好結果により底堅く推移することとなった。ただ地政学リスクや繰り返される米政権不安、FOMCを控えていたこともあり上値が重く、様子見ムードが漂っていた。その後はFOMCにおいて予想通り利上げされたものの予想の範囲内だったことでインパクトに欠けたが、米税制改革法案下院可決により再度ドル高の流れとなった。とはいえ12月全般で見るとクリスマス休暇及び年末を控えて積極的な売買が手控えられていたこともあり、狭い範囲での値動きとなっていた。



EXTRA VISION

今後の展開: クリスマス休暇や年末年始を控えた季節柄もあったせいなのか狭い範囲での相場となった12月。注目されたFOMCでも市場にインパクトを与えられず結果持合いを脱するまでに入っていない。年明けから株高による追い風もあったが、12月の相場範囲内となっており、市場も昨今の指標発表や地政学リスクに慣れも出てきたようで、何かきっかけがほしいところ。ただこれだけ持合いが続いていると大きなエネルギーが溜まっているとも考えられる。持合い離れに対処できるようにしっかりと備えておきたい。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
1 / 23 (火)	** : **	J P	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
1 / 25 (木)	21 : 45	E U	欧州中央銀行 (E C B) 政策金利	☆☆☆☆
1 / 26 (金)	22 : 30	U S	米GDP速報値	☆☆☆☆
1 / 30 (火)	19 : 00	E U	欧州GDP速報値	☆☆☆☆
2 / 1 (木)	4 : 00	U S	米連邦公開市場委員会 (F O M C)	☆☆☆☆☆
2 / 2 (金)	22 : 30	U S	米雇用統計	☆☆☆☆☆
2 / 8 (木)	21 : 00	G B	英中銀政策金利	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていることがありますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなされるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。